

平成22年 4月 28日現在

研究種目：基盤研究（C）  
研究期間：2007～2010  
課題番号：19530784  
研究課題名（和文） キャリア準備・職業生活マネジメント教育の日仏比較とカリキュラム開発

研究課題名（英文） A comparative Study between Japan and France on the Career Management Education and a Curriculum Development

## 研究代表者

上里 京子 (UESATO KYOKO)

群馬大学・教育学部・教授

研究者番号：80202448

研究代表者の専門分野：教科教育学・家政教育学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：フランスの教育課程，キャリア準備教育，職業生活教育

## 1. 研究計画の概要

本研究は、若者の職業意識の希薄化と職業能力の低下、フリーターの増加問題に対して、その根本的な解決を「自己実現と社会貢献志向の職業意識と職業能力形成」に求め、それを実践しているフランスの「社会・職業生活」科のカリキュラムと教科書分析を行うことによって、具体的な教材論・教育実践レベルでの問題解決の提案をすることを目的とする。この研究成果は、初等・中等教育におけるキャリア準備・職業生活マネジメント教育プログラムの研究開発と実践に寄与するものである。さらに、フランスの「社会・職業生活」科教育の最新動向と、最近導入された「職場体験」との関連構造を調査研究することによって、日本のキャリア教育に関する各種取り組みを一元化し、職業生活認識力と課題を解決しながら職業生活における持続可能な発達を可能とするマネジメント力（市民生活リテラシー）を確実に身に付けるためのカリキュラム開発を行う。

## 2. 研究の進捗状況

(1)職業リセの教養教育科目「社会・職業生活 Vie sociale et professionnelle」科教育におけるキャリア準備・職業生活マネジメント教育の内容における科学的概念の特質及びそれらの系統性と関連性を、学習指導要領及び教科書の分析を通して解明した。

職業生活領域の教育内容の特徴は、第一に、就業準備段階で必要な「職業教育制度」「求職情報の獲得方法」「労働関連の法律や労働契約」に関する知識からはじまり、実際の職業生活を維持し、職業生活上予想される諸問

題を解決したり、リスク防止とリスク管理のために必要な「就業・労働に関する権利と義務」「従業員代表の役割と選出方法」「解雇に関する規則や手続き、失業手当等の退職時の援助」「各種のリスク・労働災害」に関する法学、経営学などの社会科学と、心理学、病理学、人間工学などの総合科学の知識と実用的な情報が中心である。

第二に、これらの教育内容は、学習者が希望する職業に就くためにどのような学校で資格を取得したらよいのか、雇用者との間にどのような契約が必要なのかといった職業生活設計に直接結びつくものだけでなく、自己の生涯発達を見通し、予想される職業生活上の問題解決や、ストレス・マネジメントから失業回避を含むリスク防止、労働組合に参加して労働者の権利と義務を果たすことの意味などを追求し、職業生活の稼働主体としてクリティカルな分析と思考を伴った労働が可能となるように系統立てられていた。

(2)フランス人研究者との意見交換と資料収集を行うと同時に、最近のフランスの職業教育に影響を与えているアメリカ、カナダにおいて資料収集を行った。アメリカ・カナダのキャリア開発教育は総合、EU は専門化が特徴であった。

## 3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

フランスの「社会・職業生活」科の最新プログラムと資料を入手し、分析することができた。その結果、フランスでは一層職業生活教育が推進され、様々な生活上の状況に構造

的にアプローチできる能力、生活の質の向上を図る健康・環境・消費・職業生活の管理能力の養成という目的を追求している。

また、フランスの研究者、教科書編著者、視学官に聞き取り調査を実施した結果、フランスのキャリア教育実践の最近の特徴として、「実体験と能動的認識を重視した科学教育」の改革運動の影響が強まってきていることがわかった。

#### 4. 今後の研究の推進方策

(1)前3年間の研究成果について再度検討を行いつつ、日本におけるキャリア教育の学力論やカリキュラムを、教科書分析の方法によって検討し、日仏比較を行う。

(2)学習者の発達段階や学習要求に応じて、より具体的で、現実的な教育内容であるとともに、ワーク・ライフ・バランスを実現できる「ライフキャリアデザイン教育」としての家庭科教育をコアとした系統的なカリキュラム開発を行う。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

①上里京子「フランスの「家庭・社会生活」科における家族に関する教育内容」  
群馬大学教育学部紀要 芸術・技術・体育・生活科学編, 第44巻, pp. 163~175, 2009

②上里京子「フランスの「社会・職業生活」科におけるキャリア教育カリキュラム」, 群馬大学教育実践研究, 第26号, 2009

③ KYOKO UESATO, LA SITUATION ACTUELLE ET LE PROBLEME DE L'ÉDUCATION TECHNOLOGIQUE ET DE L'ÉCONOMIE SOCIALE ET FAMILIALE AU JAPON, Association Européenne pour l'Éducation Technologique Colloque 2009, CD-ROM, 2009, 国際学会査読有

④上里京子「フランスの「社会・職業生活」科における環境領域の教育内容」群馬大学教育学部紀要 芸術・技術・体育・生活科学編, 第43巻, pp. 205~217, 2008

[図書] (計1件)

①中間美砂子編著・上里京子他(共著)「小学校家庭科の指導」, 建帛社, pp. 61-82, 2010